



# 11月5日発表のオーストラリアの政策金利据置きについて

## 金融政策について

オーストラリア準備銀行(RBA:中央銀行)は11月5日の金融政策決定会合において、政策金利であるオフィシャル・キャッシュレートを年率2.5%に据え置くことを決定しました。これは事前の市場予想通りでした。RBAは声明の中で、「現在の金融緩和政策は景気回復を促しつつ、インフレ目標を達成することができるものであり、当面適切である」との判断を示しました。次回の金融政策決定会合は12月3日の予定です。

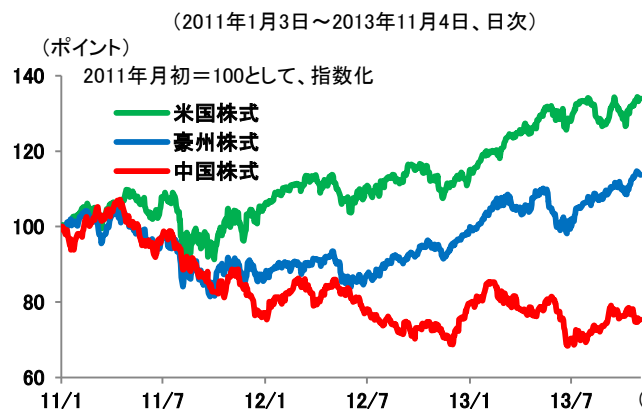
## 今後の見通し

オーストラリアでは、9月7日に総選挙が行われ、野党・保守連合(自由党と国民党)が勝利し、自由党のアボット党首が第28代首相に就任しました。市場では、新政権への期待が高く、これまでの労働党政権の経済対策の転換に注目しています。労働党政権が導入した炭素税・資源税の撤廃や法人税の引き下げやインフラ投資などの経済政策を実施しながら、非効率な財政支出の節減に努め、財政健全化路線は維持される見通しです。オーストラリア経済のファンダメンタルズ(経済の基礎的条件)は引き続き安定しており、金利水準も相対的に高く資源国通貨でもある豪ドルは、長期的には堅調に推移するものと見ています。金利については、横ばいから低下、株式市場については、利下げの効果もあり、上昇してくるものと予想しています。

【図表1】 豪州政策金利と国債利回り(10年)の推移



【図表3】 豪州株式、中国株式、米国株式の推移



※豪州株式:S&P/ASX200指数、米国株式:NYダウ、中国株式:上海 総合指数

出所:図表①～④は、ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

【図表2】 円/米ドルと円/豪ドルの推移



【図表4】 豪州株式と金価格の推移

